

## MSDS から SDS への改訂について

2013年10月  
純正化学株式会社

平素は、弊社に格別のご高配を賜りまして、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、今般、弊社では、2013年9月下旬から、従来の製品安全データシート(以下、MSDS と略す)から安全データシート(以下、SDS と略す)に変更することになり、現在、改訂中です。MSDS から SDS に変更することによる大きな変更点は、下記の通りです。つきましては、大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

- (1)表題が「製品安全データシート」から「安全データシート」に変わります。
- (2)「2.危険有害性の要約」について、和文 SDS と英文 SDS では下記の方法で GHS<sup>\*1</sup>区分している為、表記が異なります。  
和文 SDS は、独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)による区分又は事業者向け GHS 分類ガイダンス(経済産業省)に基づいて、区分しております。  
英文 SDS は、欧州化学物質情報システム(ESIS)による区分又は 欧州議会及び理事会規則(EC) No 1272/2008 に基づいて、区分しております。
- (3)「1.化学品及び会社情報」の製品名と「3.組成及び成分情報」の含有量の欄に、等級を記載しませんので、同一品名で同一危険有害性のものはできるだけひとつの SDS に統合しております。
- (4)「2.危険有害性の要約」に関して、「区分外」に該当する区分は記載しない。

以上

\*1...「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)